

レスキューロボット つくる・うごかす・ひろめる！

広工大レスコンチーム

1. 活動概要

阪神淡路大震災の教訓をもとに、救命救助機器の技術的な課題が検討された。その中で、救命救助の活動や機材に関する研究だけではなく、それらに関する啓発や広報の重要性が挙げられた。

また、啓発活動の一環として災害救助活動を題材としたレスキューロボットコンテスト（以下「レスコン」という。）が開催されている。私たちはそのレスコンに参加、さらに自分たちでイベントを開催し、レスキュー活動の重要性を広めることを目的として活動している。

2. 活動内容

2. 1. 協力開催

○岡山みらいフェア

実施場所：総合住宅展示場 プレステージ城東

実施日時：2013年5月4日～6日

実施内容：災害地を想定したミニフィールドで、ミニレスキューロボットの操縦体験を、参加者に行ってもらった。

対象：保育園児、小学生



【子供に操作を教える様子】

○レスコンシーズ in 神戸

実施場所：神戸市立青少年科学館

実施日時：2013年8月10日・11日

実施内容：改良した新フィールドで、ミニレスキューロボットの操縦体験を参加者に行ってもらった。

対象：保育園児、小学生、中学生



【製作した宮島フィールド】

○わんぱくスポーツフェア 2013

実施場所：広島グリーンアリーナ

実施日時：2013年10月5日

実施内容：8月に行われたレスコンシーズ in 神戸と同様に、災害地を想定したミニフィールドで、ミニレスキューロボットの操縦体験を参加者に行ってもらった。

対象：小学生



【同時に二人が操縦体験できるようになった】

○学内イベント

実施場所：知能機械工学科 西本澄先生の研究室

実施日時：2013年11月14日

実施内容：コース設置から参加者にしてもらい、自分たちで作ったコースでレスキューロボットを操作し、レスキュー体験をしてみた。

対象：広島西特別支援学校の小中高校生

○ものづくりフェア

実施場所：コンベックス岡山

実施日時：2014年3月1日

実施内容：レスコンシーズ in 神戸と同様に開催する。ただし今回は、スペースが小さく内容が制限される。

対象：小学生、中学生



【当イベントのチラシ】

2. 2. 講演会参加

○レスキュー工学シンポジウム

開催場所：神戸市立青少年科学館

参加日時：2013年12月7日

実施内容：防災・減災に対するレスキュー工学の役割についての討論に参加した。

○システム・インテグレーション講演会

開催場所：神戸国際会議場

参加日時：2013年12月18～20日

発表内容：広工大レスコンチームの活動内容について発表をした。

2. 3. 交流

○大阪府立高等専門学校生との意見交換会

実施場所：大阪府立高等専門学校

実施日時：2013年8月12日

実施内容：レスコンについての意見交換会を行った。私たちはロボット製作一年目なので学生へのインタビューとロボットの写真撮影をさせてもらった。

3. まとめ・反省等

過去に作成したフィールドは体験者から“つまらない”という意見があったため、ゲーム性に富んだフィールドを新たに製作し、“仕掛けが面白い”と評価された。また、操作をより簡略化したロボットを製作した。結果として、①参加者が増えた②参加できる年齢が拡大した③再度参加する人（リピーター）が増えた。

しかし、ゲーム性が強すぎて、レスキュー活動というものを知ってもらうことができなかった。今後はレスキュー要素に重点を起きたい。また、こうした問題点ばかりが挙げたわけではない。レスコンシーズの内容が評価され、本学の西本澄先生や本学の総務部、山陽新聞様からイベントへの参加要請が掛かり、多くの人に知ってもらえた。また大学のHPの特集に掲載された。これは大学の広報にも成果があったといえる。これは、レスキューロボットについて知っていただくきっかけになったのではないかと考えている。